

② 「手術・処置後、痛みが残っている」の割合

「手術・処置後、痛みが残っている」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

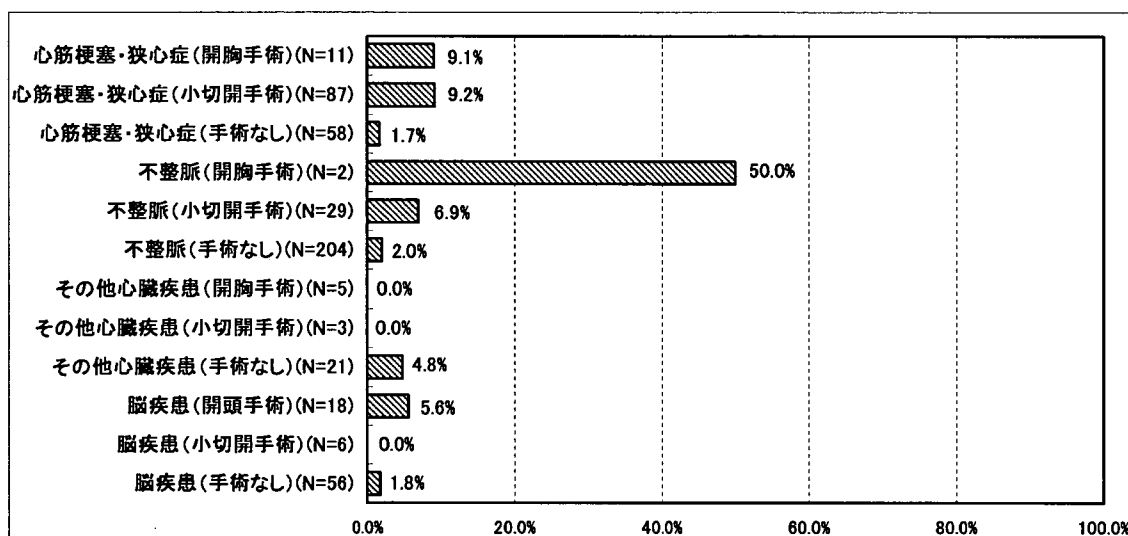


図3.3-25 「手術・処置後、痛みが残っている」の割合

表3.3-44 「手術・処置後、痛みが残っている」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	9.1	100.0
	件	1	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	9.2	100.0
	件	8	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	1.7	100.0
	件	1	58
不整脈(開胸手術)	%	50.0	100.0
	件	1	2
不整脈(小切開手術)	%	6.9	100.0
	件	2	29
不整脈(手術なし)	%	2.0	100.0
	件	4	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	4.8	100.0
	件	1	21
脳疾患(開頭手術)	%	5.6	100.0
	件	1	18
脳疾患(小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	6
脳疾患(手術なし)	%	1.8	100.0
	件	1	56
全体	%	4.0	100.0
	件	20	500

### ③ 「手術・処置後、後遺症が残った」の割合

「手術・処置後、後遺症が残った」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

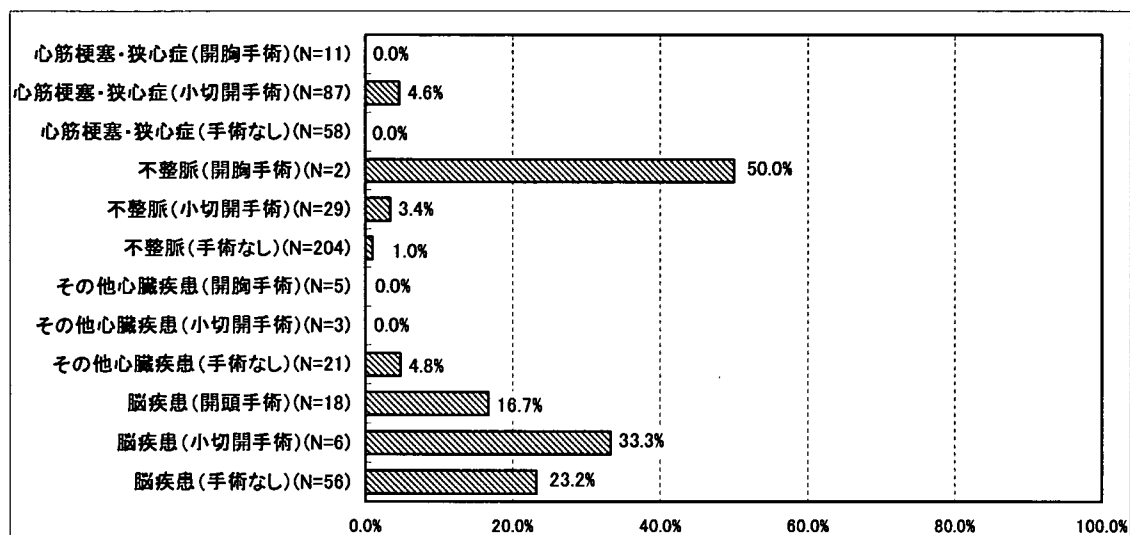


図3.3-26 「手術・処置後、後遺症が残った」の割合

表3.3-45 「手術・処置後、後遺症が残った」の割合

疾患区分(処置区分)	不安・不快を感じた		全体
	%	件	
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	0.0	0	100.0
		11	
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	4.6	4	100.0
		87	
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	0.0	0	100.0
		58	
不整脈(開胸手術)	50.0	1	100.0
		2	
不整脈(小切開手術)	3.4	1	100.0
		29	
不整脈(手術なし)	1.0	2	100.0
		204	
その他心臓疾患(開胸手術)	0.0	0	100.0
		5	
その他心臓疾患(小切開手術)	0.0	0	100.0
		3	
その他心臓疾患(手術なし)	4.8	1	100.0
		21	
脳疾患(開頭手術)	16.7	3	100.0
		18	
脳疾患(小切開手術)	33.3	2	100.0
		6	
脳疾患(手術なし)	23.2	13	100.0
		56	
全体	5.4	27	100.0
		500	

④ 「手術・処置後、傷あとが気になる」

「手術・処置後、傷あとが気になる」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

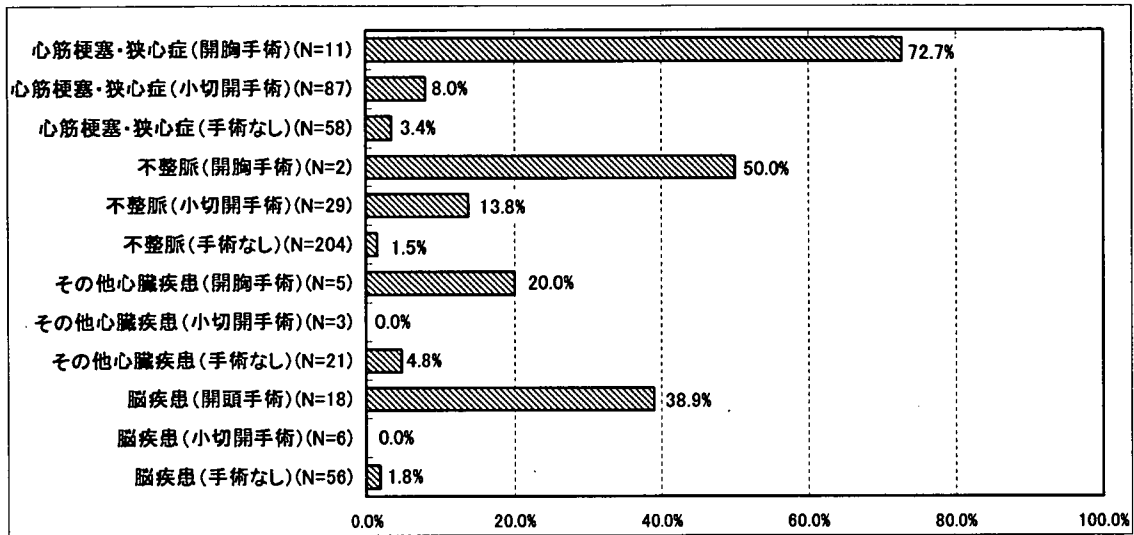


図3.3-27 「手術・処置後、傷あとが気になる」の割合

表3.3-46 「手術・処置後、傷あとが気になる」の割合

疾患区分(処置区分)	不安・不快を感じた		全体
	%	件	
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	72.7	8	100.0 11
		7	
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	8.0	7	100.0 87
		2	
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	3.4	2	100.0 58
		1	
不整脈(開胸手術)	50.0	1	100.0 2
		4	
不整脈(小切開手術)	13.8	4	100.0 29
		3	
不整脈(手術なし)	1.5	3	100.0 204
		1	
その他心臓疾患(開胸手術)	20.0	1	100.0 5
		0	
その他心臓疾患(小切開手術)	0.0	0	100.0 3
		1	
その他心臓疾患(手術なし)	4.8	1	100.0 21
		7	
脳疾患(開頭手術)	38.9	7	100.0 18
		0	
脳疾患(小切開手術)	0.0	0	100.0 6
		1	
脳疾患(手術なし)	1.8	1	100.0 56
		35	
全体	7.0	35	100.0 500

⑤ 「手術・処置後、日常生活が制限されるようになった。社会復帰が難しくなった」の割合

「手術・処置後、日常生活が制限されるようになった。社会復帰が難しくなった」の割合を疾患区分別・主義区分別にみると、以下のとおりであった。

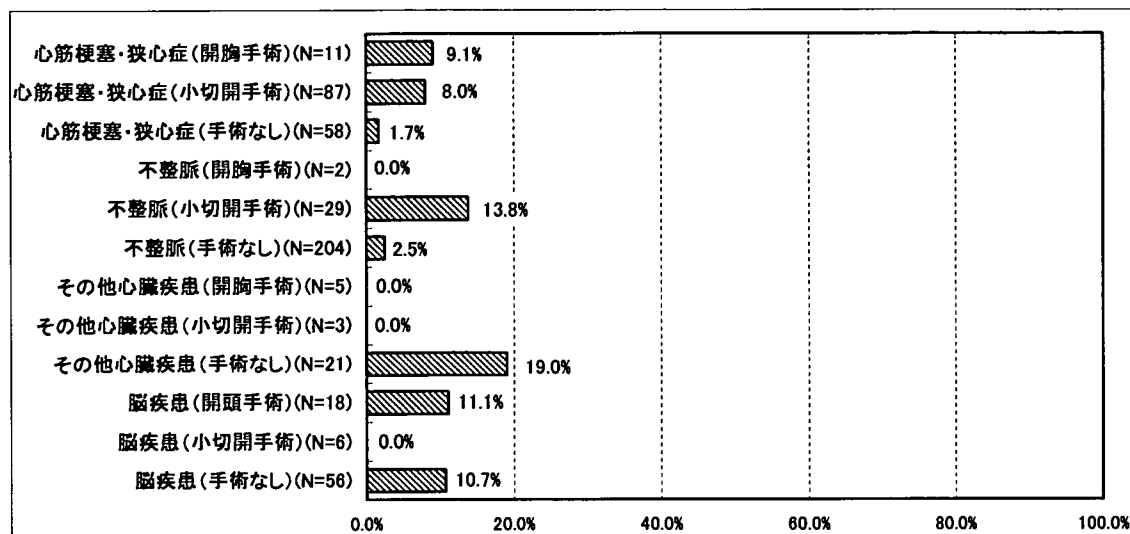


図3.3-28 「手術・処置後、日常生活が制限されるようになった。社会復帰が難しくなった」の割合

表3.3-47 「手術・処置後、日常生活が制限されるようになった。社会復帰が難しくなった」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	9.1	100.0
	件	1	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	8.0	100.0
	件	7	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	1.7	100.0
	件	1	58
不整脈(開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	2
不整脈(小切開手術)	%	13.8	100.0
	件	4	29
不整脈(手術なし)	%	2.5	100.0
	件	5	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	19.0	100.0
	件	4	21
脳疾患(開頭手術)	%	11.1	100.0
	件	2	18
脳疾患(小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	6
脳疾患(手術なし)	%	10.7	100.0
	件	6	56
全体	%	6.0	100.0
	件	30	500

⑥ 「手術・処置後、頻繁に通院しなければならない」の割合

「手術・処置後、頻繁に通院しなければならない」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

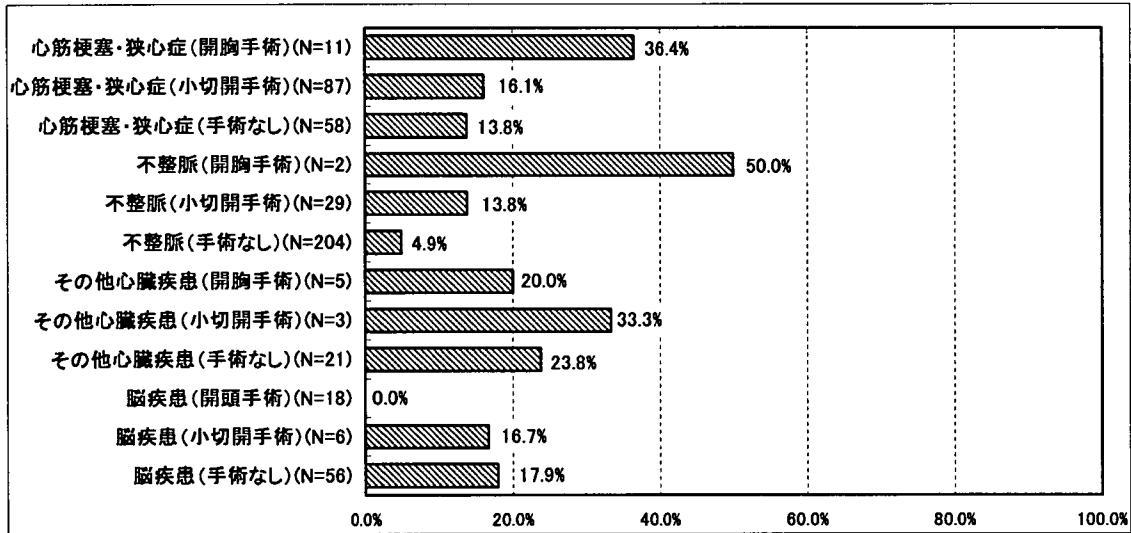


図3.3-29 「手術・処置後、頻繁に通院しなければならない」の割合

表3.3-48 「手術・処置後、頻繁に通院しなければならない」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	36.4	100.0
	件	4	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	16.1	100.0
	件	14	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	13.8	100.0
	件	8	58
不整脈(開胸手術)	%	50.0	100.0
	件	1	2
不整脈(小切開手術)	%	13.8	100.0
	件	4	29
不整脈(手術なし)	%	4.9	100.0
	件	10	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	20.0	100.0
	件	1	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	33.3	100.0
	件	1	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	23.8	100.0
	件	5	21
脳疾患(開頭手術)	%	0.0	100.0
	件	0	18
脳疾患(小切開手術)	%	16.7	100.0
	件	1	6
脳疾患(手術なし)	%	17.9	100.0
	件	10	56
全体	%	11.8	100.0
	件	59	500

⑦ 「手術・処置後、再発した」の割合

「手術・処置後、再発した」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

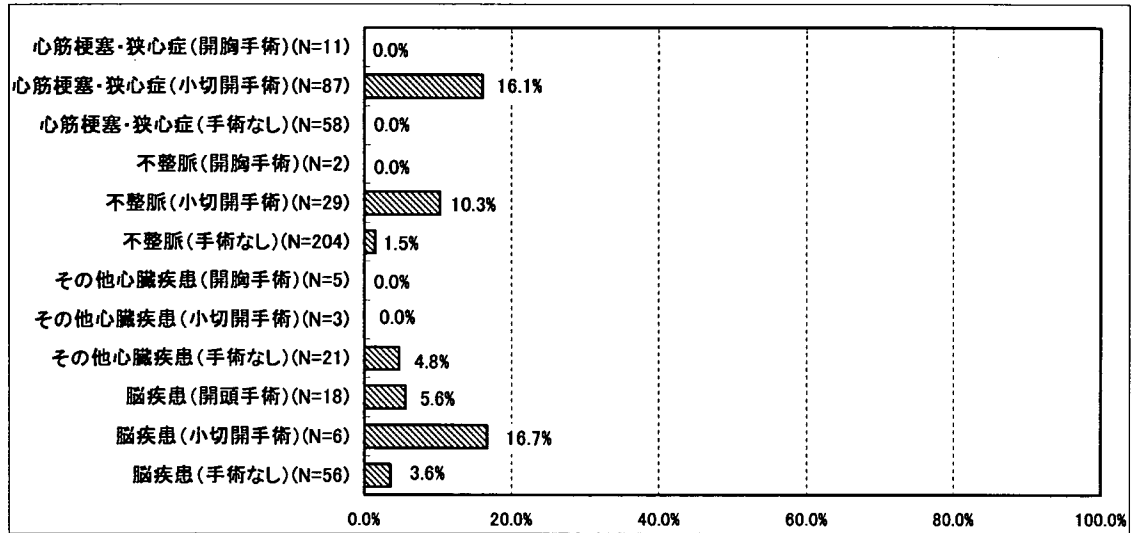


図3.3-30 「手術・処置後、再発した」の割合

表3.3-49 「手術・処置後、再発した」の割合

疾患区分 (処置区分)		不安・不快を感じた		全体	
心筋梗塞・狭心症 (開胸手術)	%	0.0	100.0		
	件	0	11		
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	16.1	100.0		
	件	14	87		
心筋梗塞・狭心症 (手術なし)	%	0.0	100.0		
	件	0	58		
不整脈 (開胸手術)	%	0.0	100.0		
	件	0	2		
不整脈 (小切開手術)	%	10.3	100.0		
	件	3	29		
不整脈 (手術なし)	%	1.5	100.0		
	件	3	204		
その他心臓疾患 (開胸手術)	%	0.0	100.0		
	件	0	5		
その他心臓疾患 (小切開手術)	%	0.0	100.0		
	件	0	3		
その他心臓疾患 (手術なし)	%	4.8	100.0		
	件	1	21		
脳疾患 (開頭手術)	%	5.6	100.0		
	件	1	18		
脳疾患 (小切開手術)	%	16.7	100.0		
	件	1	6		
脳疾患 (手術なし)	%	3.6	100.0		
	件	2	56		
全体	%	5.0	100.0		
	件	25	500		

⑧ 「手術・処置後、埋め込んだ機器のメンテナンスのために再手術・処置を受けなければならない」の割合  
「手術・処置後、埋め込んだ機器のメンテナンスのために再手術・処置を受けなければならない」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

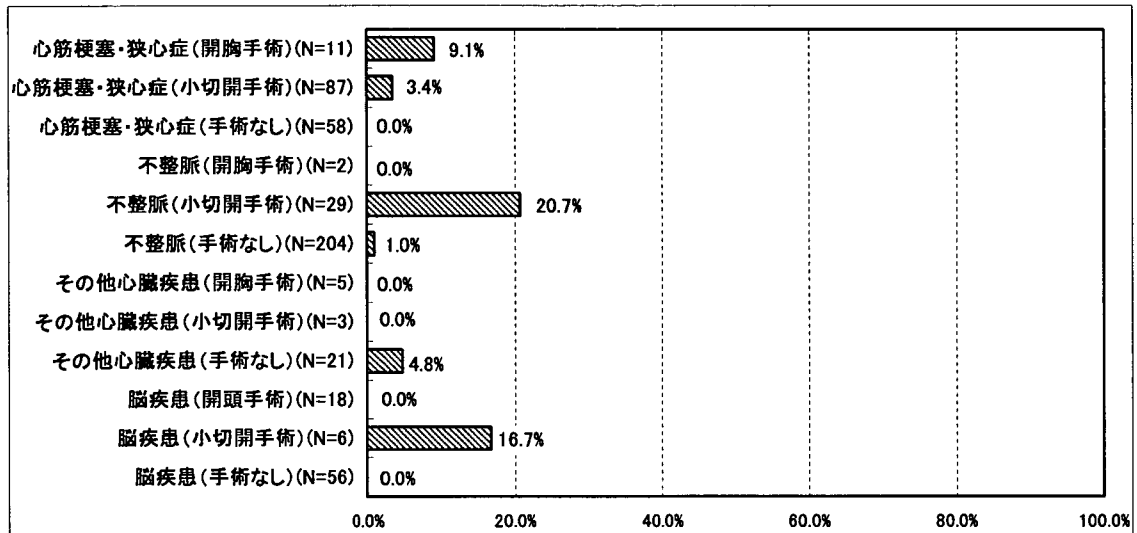


図3.3-31 「手術・処置後、埋め込んだ機器のメンテナンスのために再手術・処置を受けなければならない」の割合

表3.3-50 「手術・処置後、埋め込んだ機器のメンテナンスのために再手術・処置を受けなければならない」の割合

疾患区分(処置区分)		不安・不快を感じた	全体
心筋梗塞・狭心症(開胸手術)	%	9.1	100.0
	件	1	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	3.4	100.0
	件	3	87
心筋梗塞・狭心症(手術なし)	%	0.0	100.0
	件	0	58
不整脈(開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	2
不整脈(小切開手術)	%	20.7	100.0
	件	6	29
不整脈(手術なし)	%	1.0	100.0
	件	2	204
その他心臓疾患(開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	5
その他心臓疾患(小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	3
その他心臓疾患(手術なし)	%	4.8	100.0
	件	1	21
脳疾患(開頭手術)	%	0.0	100.0
	件	0	18
脳疾患(小切開手術)	%	16.7	100.0
	件	1	6
脳疾患(手術なし)	%	0.0	100.0
	件	0	56
全体	%	2.8	100.0
	件	14	500

⑨ 「手術・処置後の通院費などが想定していたよりも高かった」の割合

「手術・処置後の通院費などが想定していたよりも高かった」の割合を疾患区分別・処置区分別にみると、以下のとおりであった。

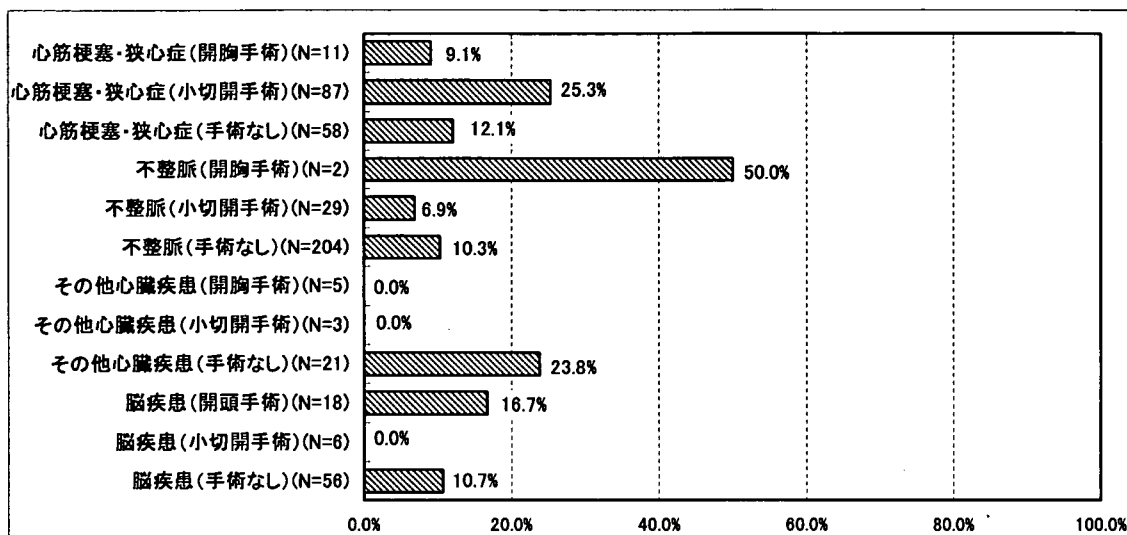


図3.3-32 「手術・処置後の通院費などが想定していたよりも高かった」の割合

表3.3-51 「手術・処置後の通院費などが想定していたよりも高かった」の割合

疾患区分 (処置区分)		不安・不快を感じた	全体
心筋梗塞・狭心症 (開胸手術)	%	9.1	100.0
	件	1	11
心筋梗塞・狭心症(小切開手術)	%	25.3	100.0
	件	22	87
心筋梗塞・狭心症 (手術なし)	%	12.1	100.0
	件	7	58
不整脈 (開胸手術)	%	50.0	100.0
	件	1	2
不整脈 (小切開手術)	%	6.9	100.0
	件	2	29
不整脈 (手術なし)	%	10.3	100.0
	件	21	204
その他心臓疾患 (開胸手術)	%	0.0	100.0
	件	0	5
その他心臓疾患 (小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	3
その他心臓疾患 (手術なし)	%	23.8	100.0
	件	5	21
脳疾患 (開頭手術)	%	16.7	100.0
	件	3	18
脳疾患 (小切開手術)	%	0.0	100.0
	件	0	6
脳疾患 (手術なし)	%	10.7	100.0
	件	6	56
全体	%	13.6	100.0
	件	68	500



#### (4) 手術・処置時に感じた不安・不快に関するコメント

ここでは手術・処置時に感じた不安・不満に関するコメントについて分析した。分析の観点としては、「身体的負担」、「拘束感」、「生命の問題」、「医療サービス」、「その他」の項目を設けた。

特にコメントが多かった項目は、「副作用・後遺症の不安」、「再発・悪化など医療の不確実性に対する不安」であった。

表3.3-52 手術・処置時に感じた不安・不快に関するコメント分析の観点

項目	分析の観点	件
身体的負担	痛み	18
	吐き気・疲労・圧迫感・緊張感・羞恥心・不快な刺激	14
拘束感	活動制限	9
	身体拘束	9
	服薬継続	13
生命の問題	副作用・後遺症の不安	36
	再発・悪化など医療の不確実性に対する不安	36
	未体験の手術・処置への不安	9
	生命への不安	9
	今後の生活への不安	12
医療サービス	説明不足	19
	医療スタッフの技能に対する不満	12
	医療スタッフの接遇・態度	10
	経済的負担	20
その他	その他の不安・不快	15

注. 回答内容が類似しているものはひとつにまとめた。また、複数の内容が含まれている回答は複数の項目で数えた。

## 1) 身体的負担に関する不安・不快

### ① 手術・処置時の「痛み」に関するコメント

手術・処置時の「痛み」に関するコメントとしては、「手術中に麻酔の効きが悪く、痛みが伴って不安を感じた」などの回答があった。

表3.3-53 手術・処置時の「痛み」に関するコメント

手術時の痛み不安があった。  
痛みがすごかった。  
痛かった。  
痛みがどれくらい続くか。  
痛みで血圧が下がって具合が悪くなった。  
入院治療中、点滴を受けたが、その薬の影響で点滴中は激しい頭痛に襲われた。  
手術中に麻酔の効きが悪く、痛みが伴って不安を感じた。  
止血時間中の手首の痛み。  
術後、止血のための傷口圧迫による痛みが続くため、2度とPTCAは受けたくないと思った。術前は良くなりたいたいという気持ちがあるため何でも我慢できるが、術後は安心感から我慢が無くなってしまふ。  
夜中に具合が悪くなった時に、救急医療で診てもらったが、その時の医師にとってもキツイ薬を点滴で入れられ、とても辛かった。  
部分麻酔でしたが、鈍い痛みを感じました。時間も4時間以上に及んだため、同じ姿勢で横たわっていたことで、頭と腰に痛みが出てきました。  
カテーテルアブレーションなので仕方ないですが、部分麻酔だったため死ぬようなとても辛い手術でした。  
手術後の麻酔から覚めた時の吐き気がつらかった。  
採血がいやだった。

② 手術・処置時の「吐き気・疲労・圧迫感・緊張感・羞恥心・不快な刺激」に関するコメント

手術・処置時の「吐き気・疲労・圧迫感・緊張感・羞恥心・不快な刺激」に関するコメントとしては、「意識がある中、体の中にカテーテルの管が心臓のほうに来るときと、レントゲン撮影のため造影剤の投入時体が焼けるように熱くなるのは言いようがない不快感の塊」などの回答があった。

表3.3-54 手術・処置時の「吐き気・疲労・圧迫感・緊張感・羞恥心・不快な刺激」に関するコメント

<吐き気>

手術後、麻酔から覚めてからの半日間は吐き気がものすごかった。嘔吐の理由は、痛み止めの点滴が体に合わなかったとの話だった。

手術後の麻酔から覚めた時の吐き気がつらかった。

<疲労>

手首の動脈部からのカテーテル挿入時、部分麻酔で完全に現状が判る状態での不安。術後の右腕全体の脱力感や疲労感が、しばらく取れなかった。

<圧迫感・緊張感>

心エコーが暗闇の中だったので不安だった。

思っていたよりも大掛かりな処置だったのでびっくりし不安に感じた。

治療機器がたくさん並び不安だった。

降圧剤を服用してから動悸・息切れ・目まい・極度の緊張感が伴った。

恐怖心など。

局所麻酔で全部聞こえる中で、顔には被いをされて非常に不安を助長された。

精神的。

<羞恥心>

全裸で処置を受けるのはやはり抵抗はあった。

<不快な刺激>

意識がある中、体の中にカテーテルの管が心臓の方に来るときと、レントゲン撮影のため造影剤の投入時体が焼けるように熱くなるのは言いようがない不快感の塊。

動脈カテーテルが不快だった。

寒かった。

## 2) 拘束感に関する不安・不満

### ① 手術・処置時の「活動制限」に関するコメント

手術・処置時の「活動制限」に関するコメントとしては、「見た目は変わらないものの、常人より多少日常生活に制限がかかった」、「術後、完全回復したにも関わらず、予防措置としていまだに薬の投与が必要」などの回答があった。

表 3.3-55 手術・処置時の「活動制限」に関するコメント

激しい運動などを控えるよう注意されている。  
術後に行動が制限されたため不自由を感じた。  
見た目は変わらないものの、常人より多少日常生活に制限がかかった。  
常人より生活が制限される

### ② 手術・処置時の「身体拘束」に関するコメント

手術・処置時の「身体拘束」に関するコメントとしては、「退院後の通院期間が思いのほか長くなり、そのための負担が相当にかかった」などの回答があった。

表 3.3-56 手術・処置時の「身体拘束」に関するコメント

#### <通院>

月に一度通院せねばならず、つい仕事の予定を入れそうになり、調整に苦勞する。  
投薬の都合上、毎月通院検査が必要になるので不便を感じる。  
通院投薬を継続する不快さ。  
退院後の通院期間が思いのほか長くなり、そのための負担が相当にかかった。  
投薬しか現在のところ治療法が無い為、頻繁に検査しなくてはならず、その為会社など休んで病院に通わなくてはならない。  
担当医が休みの日だと処置が進まない。  
待ち時間が長い。予約の意味が無かった。

#### <入院>

いつまで入院するのかわからず不安だった。

#### <処置>

意識のある中でのカテーテルオペだったので、長時間の拘束がしんどかった。  
急性心筋梗塞での緊急手術だったので、術後3日後に集中治療室から病室に戻されてからの、部屋から出ることを禁じられたこと（なぜか解らなかった）。  
約1ヶ月間、24時間監視の心電図漬けにあつて、疲れた。  
突発性心房細動を伴うため、その都度DCにて処置。

### ③ 手術・処置後の「服薬継続」に関するコメント

手術・処置時の「服薬継続」に関するコメントとしては、「毎日、薬を飲むのが面倒」、「術後、完全回復したにも関わらず、予防措置としていまだに薬の投与が必要」などの回答があった。

表 3.3-57 手術・処置時の「服薬継続」に関するコメント

<p>狭心症の疑い有りと診断され、いまだに原因不明でニトロが手放せない状況。 薬の量、種類が多すぎる。 毎日、薬を飲むのが面倒。 術後、完全回復したにも関わらず、予防措置としていまだに薬の投与が必要。</p>
--

### 3) 生命の問題に関する不安・不満

#### ① 手術・処置時の「副作用・後遺症の不安」に関するコメント

手術・処置時の「副作用・後遺症の不安」に関するコメントとしては、「降圧剤を服用してから動悸・目まい・極度の緊張感が伴った」、「半身不随現象で歩行が困難になった」などの回答があった。

表3.3-58 手術・処置時の「副作用・後遺症の不安」に関するコメント

<p>&lt;後遺症&gt;</p> <p>後遺症が出ないかと考えると不安だった。</p> <p>手術後期間が浅く（約1ヶ月）今後の病状や後遺症などのことについて全般的に不安がある。</p> <p>手術による合併症が不安だった。</p> <p>結局の所治るわけでもなく、日常生活に多少なりとも影響がでた。日や体調によって不整脈が起きたり、検診などでひっきり、処置の意味など無かったように思う。</p> <p>リハビリについて。</p> <p>麻痺がひどいので日常生活が不安。</p> <p>片麻痺。</p> <p>麻痺等の回復の度合い。</p> <p>半身不随現象で歩行が困難になった。</p> <p>左半身に自分の意思ではスムーズに動かせない麻痺が残り、いつになったら完治するのか不安だ。</p> <p>めまい。</p> <p>手術後、開頭手術をしたことによる脳圧調整力の低下が生活に支障をきたした。</p> <p>日常生活にもどれるかどうか。</p> <p>社会的に病気を持っているかと判断され転職等に影響が少なからずある。</p> <p>ひだり片麻痺が残り仕事に採用されないことが不安である。どうしても外見にて判断されるので。</p> <p>障害が残ることで先の見通しがつかないこと。</p> <p>処置の不備により約半年の間、仕事がちゃんと出来ないようになり、仕方なく仕事を辞めた。</p> <p>半分目が見えなくなったのですが、見えるようになる画期的な方法が知りたい。</p> <p>&lt;薬の副作用&gt;</p> <p>降圧剤を服用してから動悸・息切れ・目まい・極度の緊張感が伴った。</p> <p>細い冠動脈の狭窄なので内服薬治療を続けているが、副作用や肝臓の負担が心配。</p> <p>入院治療中、点滴を受けたが、その薬の影響で点滴中は激しい頭痛に襲われた。</p> <p>薬をずっと飲み続けたいいけないという不安（副作用）。</p> <p>薬を服用し続けることにより、肝臓などに負担がかからないか不安。</p> <p>&lt;痛み&gt;</p> <p>その後1年ほど軽い痛みがあった。</p> <p>傷痕が傷む時がある。</p> <p>傷跡が分かる、異物感がある、痛いときがある。</p> <p>&lt;傷跡&gt;</p> <p>傷跡が気になる程度でそれ以外は特に無し。</p> <p>傷が目立つ。</p> <p>傷痕。本当に手術が必要だったのか？</p> <p>手術後、麻酔から覚めてからの半日間は吐き気がもの凄くて、嘔吐するのに体を動かさなければならなかったため、術後の傷跡に良くないのではと非常に気がかりだった。</p> <p>首の傷は消えています、太ももと足の付け根の傷は痣になって残っています。</p> <p>傷跡が分かる、異物感がある、痛いときがある。</p>
---

② 手術・処置時の「再発・悪化など医療の不確実性に対する不安」に関するコメント

手術・処置時の「再発・悪化など医療の不確実性に対する不安」に関するコメントとしては、「血栓などが移動し脳梗塞などにならないか不安だった」、「バイパス手術で、将来的に再狭窄のリスクがどの程度あるのか不安」などの回答があった。

表3.3-59 手術・処置時の「再発・悪化など医療の不確実性に対する不安」に関するコメント

<p>&lt;再発・悪化&gt;</p> <p>再発に対する不安。</p> <p>いつ起こるか分からないという不安。</p> <p>完治していないので症状が時々出て困る。</p> <p>手術・処置が必要になることへの不安。</p> <p>再発したので不安に感じている。</p> <p>いつICDの作動が起こるか不安だ。</p> <p>投薬治療で不整脈はおさえられたようだが、再発があるかもしれないと心配になる。</p> <p>処置は投薬のみでまだ初歩だと言われたが、最近胸の辺りが重苦しく痛いような気がして不安になる。</p> <p>基本は点滴、または注射での対処なのだけれど、いつ酷くなるかは分からないのが凄く不安。</p> <p>投薬のみだが、以前より不整脈が頻発しておりやや不安である。</p> <p>受けた時には感じなかった。あとで再発した。</p> <p>バイパス手術で、将来的に再狭窄のリスクがどの程度あるのか不安。</p> <p>経過観察のために、症状が改善されていない。</p> <p>いつ再発するか不安である。</p> <p>スメーカーの電源がONになっているのか、リードがはずれないか心配だった。</p> <p>&lt;医療の不確実性に対する不安&gt;</p> <p>精密検査をしたにもかかわらず、出血箇所が判明しなかった。</p> <p>期待したほどの効果が実感できない。ほかの原因がまだあるのではないか。</p> <p>再発した原因がわからない。</p> <p>血栓などが移動し脳梗塞などにならないか不安だった。</p> <p>検査の結果狭窄部分は見付からず血管は綺麗だと言われ安心しましたが、深夜・明け方に時々強い胸痛。</p> <p>狭窄箇所が5箇所有り、まだ2箇所未処置のままである事（処置が難しい部位のため）。</p> <p>患部自体は何ら治療が施されていないという不安。</p> <p>結局、寛解状態で退院となり、患部自体は入院当初と同じ状態のままであること。</p> <p>結局治ることも治すことも無く、放置ということになり、現在も時々不整脈が起こり、日常生活で支障がでたり、検診で引っかかったりする。</p> <p>カテーテル検査は失敗例もあると聞いたので 極度に緊張した。</p> <p>ある程度は、投薬で抑えられるが、発作が出る時がある。</p> <p>途中で壊れはしないかと感じた。</p> <p>症状が改善されない。</p> <p>I. C. Dの作動。</p> <p>治っていない。</p> <p>少しずつしか回復しなかった事。</p> <p>完治しないと言われた。</p> <p>手術が成功するかどうか。</p> <p>術後、半年後の再検査。</p> <p>いつまで続くのかどうか。</p> <p>左半身に自分の意思ではスムーズに動かせない麻痺が残り、いつになったら完治するのか不安だ。</p> <p>狭窄箇所が5箇所有り、まだ2箇所未処置のままである事（処置が難しい部位のため）。</p> <p>将来の不安。</p> <p>日や体調によって不整脈が起きたり、検診などで引っかかり、処置の意味など無かったように思う。</p> <p>手術自体には特に不安や不快感はなかったが、手術後体に力が入らなかつたり不整脈が頻繁に感じられ今後の社会復帰に不安を感じている。</p> <p>ペースメーカーの電源がONになっているのか、リードがはずれないか心配だった。</p>
---

### ③ 「未体験の手術・処置への不安」に関するコメント

「未体験の手術・処置への不安」に関するコメントとしては、「頭では理解していても、未体験に対する不安」、「めったにない事に対する不安」などの回答があった。

表3.3-60 手術・処置時の「未体験の手術・処置への不安」に関するコメント

手術を受けること自体が不安なものです。  
初めての手術に対しての不安。  
初めてなので、とにかく怖かった。  
頭では理解していても、未体験に対する不安。  
手術の成否、うまくいくかどうか。  
手術自体の不安。  
予想できない処置。  
全身麻酔でカテーテルを通す検査が不安。  
めったにない事に対する不安があった。

### ④ 手術・処置時の「生命への不安」に関するコメント

手術・処置時の「生命への不安」に関するコメントとしては、「体力に自信がないので病院生活で持ちこたえられるかどうか不安になった」、「薬剤付きすてんととの挿入設置に関して、これから、いつまで無事平穏であるのかの不安」などの回答があった。

表3.3-61 手術・処置時の「生命への不安」に関するコメント

体力に自信がないので病院生活で持ちこたえられるかどうか不安になった。  
薬剤付きステントの挿入設置に関して、これから、いつまで無事平穏で有るかの不安。  
まだ手術は受けていませんが、将来受ける際には全てが不安です。  
投薬していますが、なかなか回復しない。  
治るか分からないという不安。  
どうして症状が何時までも改善されないのか不安である。  
心臓の一部が壊死しているときかされた。  
薬の定期的な服用が、無いと不安に駆られる  
薬を飲み続ける以外に治療法が無い事に不安を感じた。



⑤ 手術・処置時の「今後の生活への不安」に関するコメント

手術・処置時の「今後の生活への不安」に関するコメントとしては、「手術自体には特に不安や不快感はなかったが、手術後に体に力が入らなかつたり、不整脈が頻繁に感じられ今後の社会復帰に不安を感じている」、「リハビリについて」などの回答があった。

表3.3-62 手術・処置時の「今後の生活への不安」に関するコメント

<p>今の処置ではなく、将来受けるであろう処置についての不安を選択しました。 進行すると心不全で、心肺機能停止となること。一生投与しなければならない。 妊娠した時の再検査が不安。 経過観察中であるが、漠然とした不安がいつもある。</p>
--

#### 4) 医療サービスに関する不安・不満

##### ① 手術・処置時の「説明不足」に関するコメント

手術・処置時の「説明不足」に関するコメントとしては、「自分の状況が良く分からなかった」、「医師の説明が足りなかった」などの回答があった。

表3.3-63 手術・処置時の「説明不足」に関するコメント

納得する説明が無かった。  
医師の説明があやふや。どんな処置をするのか分からなかった。  
医師の説明が足りなかった。  
具体的な説明がなかった。  
飲んでた薬についてまともな説明がされなかった。(インフォームドコンセントの不備)  
インフォームドコンセント不足。  
医師の説明力不足。いい加減さ。  
説明不足なのでよくわからないのが不安でした…。  
ステント留置手術を受けたので今後のステント材の変化等の説明が欲しかった。  
自分の状態が十分理解できなかったため。  
手術後、開頭手術をしたことによる脳圧調整力の低下が生活に支障をきたしたが、明確にそのような説明はなかった。  
完治しないとされた。  
心筋梗塞では、死んでしまった筋組織の再生はないと聞かされた時。

##### ② 手術・処置時の「医療スタッフの技能に対する不満」に関するコメント

手術・処置時の「医療スタッフの技能に対する不満」に関するコメントとしては、「尿管にカテーテルを入れられたとき新人が担当し、慣れていないのかすごい苦痛が伴った」などの回答があった。

表3.3-64 手術・処置時の「医療スタッフの技能に対する不満」に関するコメント

仕方ないと思うのですが、頭がボコボコしています。緊急手術だったので自分がどうなるのか想像がついておらず、少なからずショックを受けました。  
再狭窄し3度も手術を受けた事  
期待したほどの効果が実感できない。ほかの原因がまだあるのではないか。  
顔脈について手術をうけ、その症状は改善したものの、不整脈が残った。手術失敗ともいえる。幸い通院するほどのレベルではないようだが、この結果で費用だけは満額払うという点で寂然としない気持ちがあった。このための同意書か、と納得した。  
尿管にカテーテルを入れられたときに新人が担当し、慣れていないのかすごい苦痛が伴った。  
手術時、極端に血圧が下がり意識が遠くなった。(血圧50まで下がった)  
出血が止まらなかった  
この先生は大丈夫なのか？  
それで何が変わったのかが感じられない

### ③ 手術・処置時の「医療スタッフの接遇・態度」に関するコメント

手術・処置時の「医療スタッフの接遇・態度」に関するコメントとしては、「局部麻酔のため意識がはっきりしている中、医師や研修医の会話が、医学的なことは少なく大半が雑談で不快だった」、「痺れが少々あっても言葉に表現できない感覚を受け止めてもらえなかったこと」などの回答があった。

表3.3-65 手術・処置時の「医療スタッフの接遇・態度」に関するコメント

局部麻酔のため意識がはっきりしている中、医師や研修医の会話が、医学的なことは少なく大半が雑談で不快だった。カテーテルで職員たちが無駄話ばかりしていた。こっちは血圧が下がりが不安を訴えているのに片手間で処置された。局所麻酔であったため、医師と機器メーカー担当者との会話が気になった。施術は医師であるが、助言者がスーツを着たメーカー担当者。何とも言えない気持ちだった。カテーテルの時、医師が笑いながら行っていた。手術はしていないが、検査時の対応。検査のときに意識があるので、医師の言っていることに不安を覚えてしまった。大学病院なので仕方ないのですが、麻酔を学生がしたのは驚きと恐怖でした（きちんと担当医は立会いのもとでしたが）。処置後担当医の患者を馬鹿にしたような説明。処置中の私語。痺れが少々あっても言葉に表現できない感覚を受け止めてもらえなかったこと。検査時の融通の利かなさに、気軽に再検査したいという思いに壁が立ちはだかっている。

### ④ 手術・処置時の「経済的負担」に関するコメント

手術・処置時の「経済的負担」に関するコメントとしては、「薬代や通院で費用がかかる。経済的負担が大きい」、「説明の際に、値段の説明をしてもらえず、検査を受けた後の会計のときや、薬局で驚かされる羽目になる」などの回答があった。

表3.3-66 手術・処置時の「経済的負担」に関するコメント

経済的な不安。  
高額医療費。  
医療費が家計を圧迫していること。  
費用が予想以上にかかった。  
処置入院費が予想以上に高く支払いに苦労した。  
頻脈について手術をうけ、その症状は改善したものの、不整脈が残った。手術失敗ともいえる。幸い通院するほどのレベルではないようだが、この結果で費用だけは満額払うという点で釈然としない気持ちがあった。このための同意書か、と納得した。  
治療費が高い。  
薬代や通院で費用がかかる。経済的負担が大きい。  
薬代が高い。  
毎月の診察・薬代がかなりの負担となる。  
手術後退院後の治療費用がかさんだ。  
通院のたびに検査があつて、費用が掛かった。  
投薬していますが、なかなか回復しない。検査費用や治療費がかさむ。  
通院投薬を継続する不快さと経済的圧迫の方が問題。  
説明の際に、値段の説明をもらえず、検査を受けた後の会計のときや、薬局で驚かされる羽目になる。

## 5) その他の不安・不快

### ① 手術・処置時の「その他の不安・不快」に関するコメント

手術・処置時の「その他の不安・不快」に関するコメントとしては、「意識がなく、後から考えるに全てに不安でした」などの回答があった。

表3.3-67 手術・処置時の「その他の不安・不快」に関するコメント

<p>24時間の心電図を計ってからは何も処置をしていない。 救急で行ったので、訳が分からなかった。 意識がなく、後から考えるに全てに不安でした。 心の不安。 心臓というだけで不安を感じる。 頭なので。 心筋梗塞では、死んでしまった筋組織の再生はないと聞かされた時。 死ぬかと思った。 手術を受けるほどではなかったが痛みがある。</p>
---